

山梨県埋蔵文化財センター

埋文やまなし

2010.3.25

<http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/>

YAMANASHI Pref  
ARCHAEOLOGICAL Cultural  
Properties Center



第35号

## 『第22回市町村埋蔵文化財発掘担当者研修会』開催報告



大塚初重先生

## 「遺跡を再度掘る意義と 成果について」



会場の様子

2010年2月17日(水)、風土記の丘研修センターにおいて『第22回市町村埋蔵文化財発掘担当者研修会』が開催されました。今回の研修会は「遺跡を再度掘る意義と成果について」というテーマのもと市町村職員、一般参加者合わせて約80名の出席があり、会場は例年以上の活気にあふれていました。

当日は埋蔵文化財センター元所長である明治大学名誉教授大塚初重先生を講師としてお招きし、第2次世界大戦直後に先生が実際に発掘調査に携わり、半世紀ぶりに再調査が行われた静岡県登呂遺跡と、昨年60年ぶりに再調査された奈良県桜井茶臼山古墳が事例として取り上げられ、講演が行われました。その中では数々の貴重な写真資料と実体験に基づくお話が、時にはユーモアを交えながら熱く語られ、最新の技術と研究成果をもって遺跡を再調査することがいかに有意義であるかについて、すべての参加者にわかりやすく伝えられました。また講演終了後には参加者から先生に質問が投げかけられるなど、活発な意見交換が行われました。

研修会終了後の参加者の中からは、大塚先生の講演を通して古きよき時代の発掘を思い出し、それを懐かしむ声が多く聞かれるなど、充実した研修の機会となりました。

# 今年度調査が行われた主な遺跡(その2)と 出土品を紹介します。

## 美通遺跡(みとおしいせき)

都留市井倉にある美通遺跡は、富士五湖のひとつである山中湖を水源とする桂川支流の朝日川左岸にあり、標高 413 ~ 418mほどの北に緩やかに傾斜する河岸段丘面に立地しています。周辺には弥生時代(今から約 2000 年前)の遺跡として知られる生出山山頂遺跡や九鬼遺跡などの遺跡が点在しています。

昨年度から継続して行われた発掘調査の結果、縄文時代前期末(約 5000 年前)、奈良・平安時代(約 1300 年前)の竪穴住居跡などの遺構が検出されるとともに、縄文時代早期から後期(約 8000 ~ 3000 年前)にかけての土器や、江戸・明治時代(約 300 年前)の陶磁器や金属製品が出土しました。このように各時代を通して遺構や遺物が発見されたことは、この地域が時代を問わず人々にとって生活に非常に適した場所であったことを物語っています。

### 美通遺跡C区

(南から奥に見えるのは山梨リニア実験線)



住居跡の検出状況



底部に穴の開いた甕

今回の調査を通して数多くの遺物が新たに発見されましたが、その中には形状や用途などにおいて非常に興味深いものが複数見られます。例えば、右の写真は古墳時代(約 1500 年前)の土坑から出土した甕ですが、この甕は底の部分に穴が開けられているのがわかります。本来甕とは水や食料などを中に入れて貯蔵する役割を持っているので、底の部分に穴を開けるということは考えられません。ではこの甕ほどのような用途で使用されたものなのか、現在調査中ですがとても貴重な資料です。



## 滝沢遺跡(たきざわいせき)

富士河口湖町にある滝沢遺跡では、平安時代(今から約1100年前)の竪穴住居跡15軒などともに、素焼きの土師器「甲斐型土器」が大量に発見されています。その中には、墨で文字が書かれた「墨書土器」のほかに、「川」という文字やまじない・魔よけの記号として考えられる格子状の記号を鋭利な道具で刻み込んだ「刻書土器」が多く見られます。特に、「川」の刻書はこの遺跡がある「河口」の地名を表している可能性も考えられ、これらの刻書土器は遺跡の性格を考えていく上で重要な存在であるといえます。

刻書土器(こくしょどき)



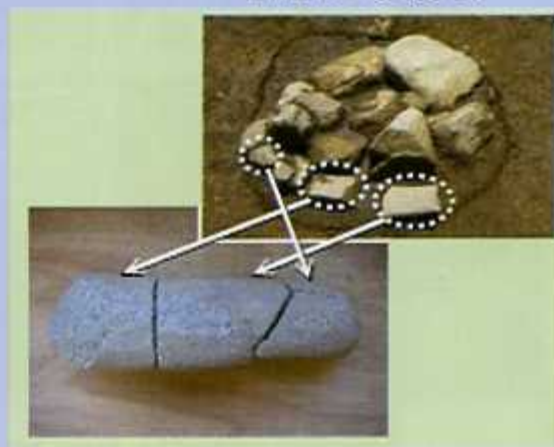
## 原間遺跡(はらまいせき)

南部町にある原間遺跡からは、縄文時代後期(約3000~4000年前)の石棒が数点出土しています。これらの石棒は、日常的生活道具ではなく、お祀りに使われた道具ではないかと考えられています。

数点出土した石棒のうち一点は、自然石が詰め込まれた土坑の中から、バラバラに壊された状態で見つかっています。おそらく、お祀りが終了した後にバラバラに壊し、自然石と一緒に穴の中に入れられたものと考えられます。

石棒が出土した土坑の周辺から縄文時代の住居跡が発見されていないことから考えると、土坑の周辺はお祀りを行った場所であると考えられます。

石棒(せきぼう)



## 太鼓畑遺跡(たいこばたいせき)

笛吹市御坂町にある太鼓畑遺跡からは、平安時代(今から約1000年前)の竪穴住居跡が検出されました。竪穴住居跡からは当時の人々が使っていた土器などが数多く出土しました。

このうち竪穴住居跡東側の壁際から出土した素焼きの焼き物で坏と呼ばれる茶碗のような形をした土器は、ほぼ完全な形で検出されました。

坏は本来食器として使用されていましたが、ここに紹介する坏は縁の一部分に真っ黒な煤が付着しているのがわかります。このことから、この坏は、灯明皿に転用された可能性があり非常に興味深い資料です。

坏(つき)



## 今年度の出前支援事業 (土器づくり・火おこし・勾玉づくり・土器と石器の話)



田富南小



武川中



竜王北小



豊富小



下山小



日野春小



長坂小



大河内小



石田小

## 埋蔵文化財センターからのお知らせ

### 「山梨の遺跡展2010」開催中

山梨県埋蔵文化財センターや市町村教育委員会が2009年度に行った発掘調査の速報展を開催中です。貴重な出土品が一堂に会していますので是非足をお運びください。

会 期 2010年3月13日(土)～4月12日(月)  
場 所 考古博物館多目的室  
会場時間 午前9時～午後5時(入場無料)

#### 主な出展遺跡

- ・御所山遺跡
- ・太鼓畑遺跡
- ・山岳信仰遺跡
- ・甲斐国分寺跡
- ・山崎第4遺跡
- ・甲府城跡
- ・滝沢遺跡
- ・六ツ長遺跡
- ・西川遺跡
- ・後田堰取水口堤防跡
- ・中丸遺跡
- ・原間遺跡
- ・美通遺跡
- ・板橋遺跡

#### 編集後記

厳しい寒さが過ぎ去り、各地から春の便りが聞こえてくるようになりました。今回は、前号に掲載し切れなかった遺跡の紹介と出土遺物を紹介しました。今後も発掘成果や普及活動の様子のほか、様々なテーマを取り上げて埋文やまなしに掲載する予定です。

#### 山梨県埋蔵文化財センター

### 埋文やまなし 第35号

発行日 2010年3月25日  
編 集 山梨県埋蔵文化財センター  
発 行 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923  
Tel・055-266-3016 Fax・055-266-3882  
印 刷 (株) 峽南堂印刷所